

## 【様式1】

団体名 <b>糸満市立 喜屋武こども園</b>	連絡先 TEL : 098-997-3663 Eメール : kyankodomoen@city.itoman.lg.jp
----------------------------	---

### 1 実践事項 (①)

## 「 小学校への円滑な接続を目指して 」

### 2 実践内容

- 交流を通して小学生に憧れや親しみを持ち、就学への期待を持つ。
- 幼小合同研修で、こども園施設見学・学びや育ちについて情報交換を行う。
- 幼小で接続期カリキュラムを作成し、育ちの連続性や就学までに培いたい力を共通理解する。

### 3 説明資料 (写真、グラフ、図、表など)



4年生と七夕交流



幼小合同研修



接続期カリキュラム作成



2学期終業式参加

### 4 成果

- 新型コロナウイルス感染症の影響で日程等の変更はあったが、交流の持ち方を工夫することで、実施することができた。短い時間だが、小学生の優しさに触れ、親しみや憧れを抱いている言葉が聞こえた。また、交流後は、小学生が作ったものを見て「自分たちもやってみたい」と遊びの中に取り入れる姿が見られた。
- 小学校の2学期終業式に参加することで、小学校の雰囲気を感じ、学校生活のイメージをもつことができた。
- 幼小合同研修では、園生活やあそびの中での育ちや就学までに育てたい力について情報交換し、育ちのつながりを確認することができた。
- 幼小で接続期カリキュラムを作成することで、子どもの育ちの連続性や就学までに培いたい力を確認することができ、保育の見通しがもてた。

### 5 課題

- 円滑な接続を保障するために、コロナ禍でもできる方法を考え、幼小交流や情報共有を行いたい。
- 子ども達が入学後、安心して過ごせるように、学級担任以外の図書室や保健室の先生方ともつながる機会をもちたい。